

五指の響命

第2章

生吹

ibuki

（左手のピアノと和太鼓、朗読のアンサンブル）



2023 Saturday
10.14

No Borders アートは垣根を超える

午後3時30分 開演

午後2時30分 開場

WAKO ゲバントホール

広島市中区本川町2-1-13 和光パレス5階

同時開催

inclusiveなアート展 ● miniマルシェ

午後2時30分から

（開演前・休憩中・終演後ロビーにて）

プログラム・演目紹介は中面をご覧ください

チケット・プレイガイド情報は裏面をご覧ください

五指の響命

第2章

生吹

第二章 -生吹- ibuki について 「魅力的なアート」

第一章（2019年開催）は左手のピアノ曲を純粋な音楽として心で聴いていただきたく、テーマは「心音-cocorone」。第二章のテーマは「生吹-ibuki」。皆様は「生吹」という言葉から何を想像しますか。

コンサートに華を添えてくださるのは、以前から親交を深めている広島市中途失聴・難聴者協会文化部和太鼓「天手鼓舞」（てんでこまい）の皆様と朗読家 馬場精子（ばば せいこ）さんです。

天手鼓舞の皆様は、昨年6月に秋篠宮両妃同殿下御前演奏を、今年は広島交響楽団との共演など広島県を代表する意欲的な和太鼓グループです。伝わる熱気、漲るパフォーマンスに、観る方、聴く方は元気をいただくことでしょう。本コンサートのために、第一章のゲスト、ピアニストで作曲家の月足さおりさんに和太鼓と左手ピアノのための楽曲「響命-resonance-」を作曲いただきました。世界初演となります。馬場精子さんは、2015年に京都府知事賞と京都市教育賞を受賞されました。表現者としてだけではなく指導者としてもご活躍されています。様々な声色をもつ精子さんの深い朗読表現、宮沢賢治の世界に聴く人の心は揺さぶられることでしょう。

ロビーで開催の「inclusiveなアート展とminiマルシェ」も大好きで大切な方々にご協力いただきました。ご来場くださる皆様に障害・性別・世代の垣根を越えた「アート=芸術」と「生吹-ibuki」を五感で感じていただけますように。

五指の響命とは

五指の響命（ごしのきょうめい）は、左手のピアニスト 瀬川泰代主催によるピアノコンサートシリーズです。国内外各地からアーティストを招聘し左手で奏するピアノ曲のコンサートを開催します。お客様に左手のピアノ曲の芸術性の高さや可能性の広がりを感じていただき、心豊かな時間を過ごしていただくことを願い、また、毎回の公演テーマを通して皆様に伝えたい大切なメッセージを心に秘めて企画しています。「五指」とは左手のピアノ曲を奏する五本の指のこと。左手のピアノ曲は五指それぞれの役割と音の「響き」がとても大切です。楽曲を奏するという事は、音楽に作曲家の「命」を宿すこと。作曲家と演奏家の心が「共鳴」し、奏する音楽がお客様の心に響きわたることを祈り、コンサートシリーズを「五指の響命」と名付けました。



Program

- 左手のピアノと朗読
- 「響命-resonance-」和太鼓と左手ピアノのため 月足さおり作曲
- 時のほぎさま 村田昌己作曲
- 「KENJI...宮沢賢治によせる」語りと左手ピアノのため 吉松隆作曲構成
- 「よだかの星」(宮沢賢治) 音楽「アイノラ抒情曲集」から 吉松隆作曲
- 左手のためのピアノ協奏曲「ケフェウス・ノート」から 吉松隆作曲

出演者紹介



主催・左手のピアノ

瀬川泰代

広島県出身。オーストリア在住。安田女子高校、エリザベト音楽大学、同大学研究生を経て2012年渡欧。2018年タレントミュージックマスターコース(イタリア)ディプロマ取得。2020年オーストリア国立グラーツ芸術大学大学院コンサートピアノ科(オーストリア)を満場一致の最優秀の成績で卒業。「左手のピアニスト」として12の国際ピアノコンクール(国内外25)で受賞。現在まで14か国で演奏会・音楽祭に出演。

高校3年(2005年)、右手指に局所性ジストニアを発症。大学卒業(2010年)を機に、左手での演奏に転向。グラーツ芸術大学大学院合格(2012年)は、邦人の左手奏者入学が欧州で初めて認められたため、読売新聞全国版で取り上げられた。これまでにエヴメリア音楽祭(ギリシャ)いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭(石川)にソリストとして出演。2018年、リヒャルト・ワーグナー財団による世界中から集まる200名の奨学生に選出され、バイロイト音楽祭(ドイツ)に招待される。イタリア・オーストリア・ギリシャ・セルビア・リヒテンシュタインの各メディアでも活動や演奏講評が取り上げられる。ルーマニア国立バカウ交響楽団、広島交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢と左手のためのピアノ協奏曲を共演。2021年、東京2020パラリンピック全国集火式広島県代表に選ばれ、県知事表敬訪問と「広島県の火」集火・出立では県代表として出立宣言、演奏を務める。左手のピアノ曲が生まれた背景と重ね、被爆ピアノ演奏の活動を行う他、コンサートシリーズ「五指の響命」、ミニコンサート+座談会の参加型オンラインコミュニティイベント「online話奏会」を企画・主催、演奏音源付絵葉書「音の風景」発売など幅広い層を対象に左手のピアノ曲の普及活動に自ら積極的に取り組んでいる。

2021年10月、オーストリア滞在中に左手指にも局所性ジストニアを発症。11月、2018年に最優秀賞受賞の、館野泉氏が審査委員長を務める「左手のピアニストのための公開オーディション(石川)」で再度最優秀賞授与を機に、音楽活動継続を決意。2022年5月、オーケストラ・アンサンブル金沢と池辺晋一郎作曲ピアノ協奏曲第三番「西風に寄せて」を共演(いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭・垣内悠希指揮)。公演に向けて、NHK金沢放送局による密着取材を受ける。石川県で放映後、「左手のピアニスト」自分の表現を求めては、北陸・東海地方7県で再び放送される。

これまでに平本恵子、瀧本恵康、横山幸雄、アンドレア・ボナッタの各氏に師事。また、故アキレス・デル＝ヴィーニコ、ジャック・ルヴィエ、パーヴェル・ギリロフ、ヘンリ・シーグフリードソン、ロバート・レヴィンの各氏のレッスンを受講する。2012年から現在までグラーツ芸術大学教授池場文美氏(オーストリア)、2023年よりリトレーニングをラウレント・ブレイ氏(ドイツ)に師事。2010年2013年中村音楽奨学金奨学生、2017年リヒャルトワーグナー財団奨学生選出。現在、治療は京都で、リトレーニングをドイツで受講し、並行して演奏活動を行う。今後、日本国外ではセルビア・オーストリア・ドイツで演奏会に出演予定。

《メディア》2014年ハートネットTV(NHK)、2017年ドキュメンタリーフィルム「Solo For One Hand」(チェコテレビ・Gnomon)、2019年BS1スペシャル「私は左手のピアニスト」(NHK)、「左手がある。」(北陸朝日放送)、2021年「生きるを伝える」(テレビ東京)2022年「左手のピアニスト」自分の表現を求めては(NHK金沢放送局、北陸・東海地方7県で放送)《受賞歴》2015年Marta Debelli 奨学金コンクール 満場一致1位(オーストリア)2017年City of Vigo 国際ピアノコンクール2位(スペイン)、Val Tidone 国際コンクール Silvio Bengalli 左手のピアノレパートリーでファイナルラウンド進出を讃える特別賞(2017年)、4位(1位なし 2018年イタリア)、2018年Nuova Coppa Pianisti国際コンクール3位、現代音楽賞(イタリア)、2019年 Primavera Pianistica コンクール2位(ベルギー)など



和太鼓

広島市中途失聴・難聴者協会文化部
和太鼓 天手鼓舞

広島市中途失聴・難聴者協会文化部和太鼓天手鼓舞は、聴覚障害者を中心に1994年5月に結成しました。今年で28年になります。現在のメンバーは約10名です。聞こえの程度はまちまちですが、手話や読話、筆談などでコミュニケーションをとりながら、毎週土曜日に集まって練習しています。主な活動は、フラワーフェスティバルでのステージ演奏をはじめ、マーガレットコンサート(障害者と広島交響楽団とのジョイント)、県内各地の地域イベント、高齢者施設での演奏等です。2022年6月には、「第70回全国ろうあ者大会 inひろしま」式典にて秋篠宮両妃同殿下の前で演奏をおこないました。耳が聞こえなくても心をつなげて、観ていただく方に感動していただける演奏をモットーに頑張っています。



朗読

馬場精子

立命館大学卒業。京都放送劇団に研究生として入団。府民ホールアルティ柿落とし主演が初舞台。以後、様々な放送劇に出演する。宇治市源氏物語ミュージアムでは平安時代の復元音で「源氏物語」原文を朗読、TVの歴史番組では奈良時代の復元音で万葉集を朗読する。朗読公演では、芥川龍之介や宮沢賢治、樋口一葉など近代日本文学から現代の作品まで手がけた作品は多岐に渡る。2012年文部科学省後援「青空文庫朗読コンテスト」金賞受賞(日本朗読検定協会主催)。2015年「京都府知事賞」受賞。指導する会に「京都市教育長賞」を受賞。2016年文部科学省後援「青空文庫朗読コンテスト」(日本朗読検定協会)審査員。大学での講師のほか、美術館・図書館、NHK文化センターなどの朗読講座講師。「馬場精子朗読教室」主宰。一般社団法人日本朗読検定協会認定プロフェッサー。作品の洋の東西を問わず、音楽や他の芸術分野のアーティストと共演多数。



なるで音楽祭 第2章の観どころ聴きどころ、参加どころ

1. 笑顔でゆっくりお客様をお出迎え!

開場時間!5階ロビーへ。生活介護・就労継続支援B型HAP-Bの皆さんがご来場のお客様をお待ちしています。

2. 「インクルーシブな芸術」に触れよう! おやつとお飲み物は会場内で!

5階6階ロビーにて「inclusiveなアート展とminiマルシェ」を開催!
「個性あふれる子供たちのアート」「職人の技・漆喰絵と折り鶴」「ステキなモノたち」「アート作品・限定グッズ」「おやつとお飲み物」「五指の響命グッズ」
...▷裏面に詳細をご紹介します!

3. 会場WAKOゲバントホールはドイツ・ライプツィヒのゲバントハウスと関係あり!?

6階、シューボックスからのご鑑賞もおすすめ!
...▷裏面に詳細をご紹介します!

4. 世界初演! 「響命-resonance-」和太鼓と左手ピアノのため その世界とは!

5. 語りと音楽による表現! 宮沢賢治の魅力!朗読の魅力!

演目の紹介

世界初演!

「響命-resonance-」和太鼓と左手ピアノのため

五指の響命第一章-心音-cocoroneゲスト、ピアニストの月足さおりさんに「響命-resonance-」を作曲いただきました。曲名の通り、楽曲はコンサートシリーズ五指の響命の「響命」という言葉からの創造です。楽譜を拜見すると和太鼓は高音・中音・低音の3つのパートに分けることができ、まるでオーケストラのようです。ピアノと和太鼓の掛け合いや同時に演奏する場面、音の数は少なくとも倍音を活かすことにより音の響きが豊かになる左手のピアノならではの技法など、ラヴェル作曲 左手のためのピアノ協奏曲を想像します。月足さんが左手のピアノをよく解っていらっしゃるからだと思います。映画を観ているかのような物語性、ドラマを感じる美しい旋律、月足さおりさんならではの心潤い、時に切なくも感じる繊細な色の移り変わりや真つすぐな芯のある力強さの対比など、たくさんの魅力が詰まった楽曲だと感じます。音楽から見える風景を、和太鼓と左手のピアノが一体となることによる化学反応を、そして月足さおり×瀬川泰代×天手鼓舞の「響命」をぜひお楽しみください。
(瀬川 泰代)

～月足さおりさんより～

左手で奏でるピアノと和太鼓、私はその共通するものを「余韻、残響」と捉えました。音が鳴った後の空気中の色彩感を書く事ができたらと思いついて作曲させて頂きました。といってもピアノと和太鼓のアンサンブル、私自身経験のない世界です。瀬川さんの幅広い表現力、瀬川にしか出せない音の世界、そして、天手鼓舞の皆様の素晴らしい和太鼓でこの曲に命を吹き込んで頂けたらと思います。



左手のピアノと和太鼓 左手のピアノと朗読

宮沢賢治ってどんな人?

宮沢賢治は岩手県花巻市を代表とする偉人のひとり。ホームページでは「宮沢賢治の年譜」の他、「賢治と文学」「賢治と農民」「賢治と博物学」「賢治と仏教」について知ることができます。

[花巻市ホームページ「宮沢賢治について」](#)



「KENJI...宮沢賢治によせる」語りと左手ピアノのためへの想い

左手のピアニスト 館野泉さんが「KENJI...宮沢賢治によせる」についてお話をされています。館野泉さんも作曲家 吉松隆さんも宮沢賢治が大好き!

[YouTube「Japan Arts Corporation」左手のピアニスト「館野泉80歳へのプロジェクト」KENJIについて](#)



朗読に寄せて ～馬場精子さんより～

私は幼い頃から、文字を見つけると声に出して読んでいた。レストランのメニューは美味しくそれにそれらしく、物語はその人物になりきって。子どもなりにではあるが、物語の場面を想像し、設えたことを思い出す。小中学生の頃は、合唱団で皆と声を合わせるのが楽しかったし、その後、演劇にも打ち込んだ。気が付くと、文学作品の世界を自分の「声」ひとつで創造する「朗読」という表現の世界に生きていた。「朗読」は、照明や音楽、大道具や小道具がなくとも、自分の身体、声だけで作品の世界を表現することができる芸術だ。登場人物ひとりひとりの「人生」を生きながら、同時に語り手でもあり、物語全体を俯瞰する演出者でもある。朗読を聴いてくださっている皆様の中には、どんな「絵」が描かれているのだろう。生きてきた年数、経験したことは一人ずつ違う。だから、人の数だけ「絵」は存在する。朗読を聴くうちに、いつの間にか目の前にいる私(朗読者)のことを忘れ、自由に作品の世界で遊んでいただけたら。そして「こんな作品だったのか」と、新たな発見をしていただけたらどんなに素敵だろう。

小学五年生のある日、私は母から一冊の本を渡された。宮沢賢治の作品集。母が出かけると、私はその中の『よだかの星』を読み始めた。読むうちに止めどなく涙が溢れ、嗚咽を堪えることができなかった。それは、本を読んで初めての経験だった。その時から何十年も経った。今回、ピアニストの瀬川泰代さんの「五指の響命」において『よだかの星』を朗読できることは、とても意味のあることだと私は感じている。宮沢賢治の人となりや作品について、ひと口に語ることはできないけれど、その作品は音楽的であるといつも思う。そして、生きとし生けるものの「いのち」への思い、その「言葉」に心が震える。ちょっぴり心が疲れた時、本を手に取り、開いてみる。そこにある言葉を声に出して読んでみる。自分の声に耳を澄ます。自分の声の響きを感じる。ただそれだけに集中してみる。何か動いたような気がする。

知っている?

ヨーロッパの左手のピアノ音楽史

左手のピアノ曲は、世界に3,000曲以上存在するといわれています。その歴史を遡ると今から約250年前、音楽の父とよばれる作曲家J.S.バッハの息子、カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ(1714-1818 ドイツ/作曲家)が右手でも左手でも演奏できる片手のための楽曲を作曲したことが始まりです。しかし、ベートーヴェンやモーツァルトが活躍した古典派(1750頃-1820頃)では、C.P.E.バッハの楽曲以外、なかなか生まれることはありませんでした。

ショパンやリストが活躍したロマン派(1820頃-1920頃)では、世の中から名曲と認められる芸術性の高い左手のピアノ曲が作曲されるようになりました。レオポルド・ゴドフスキー(1870-1938 ポーランド/教師・作曲家・ピアニスト)は技巧も表現もさらに複雑に難しく、ショパンの練習曲を左手用に編曲するなど「左手の神様」とよばれるほど、数多くの左手のピアノ曲の作曲・編曲活動を行いました。左手のピアノ奏法も唱えたそうです。カール・ライネッケ(1824-1910 ドイツ/教育者・作曲家・指揮者・ピアニスト)はクラシック音楽史上初めて、ピアノ教育のための左手のピアノ曲「左手のためのピアノ・ソナタ」を作曲しました。そして、ヨハネス・ブラームス(1833-1897 ドイツ/作曲家・指揮者・ピアニスト)が、手を痛めたロベルト・

シューマンの妻クララのために編曲した、無伴奏ヴァイオリンのための「シャコンヌ」(J.S.バッハ作曲)も名曲です。ロマン派では、ピアノという楽器自体も発展し、演奏表現の可能性が広がったために左手のピアノ曲が沢山生み出されたと考えられます。それ故、手を痛めるピアニストも多かったのかもしれませんが。

左手のピアノ音楽史で最も重要な時は、第一次世界大戦(1914-1918)以降です。第一次世界大戦で右腕を負傷したオーストリアのピアニスト、パウル・ヴィトゲンシュタインのために沢山の作曲家たちが左手のピアノ曲・室内楽曲・ピアノ協奏曲を作曲しました。ヴィトゲンシュタイン自身も意欲的に作曲・編曲活動を行いました。第二次世界大戦(1939-1945)で右腕を失ったピアニストも彼同様に左手のピアニストとして活躍しました。

時代背景から平和への祈りを込めた楽曲も存在します。左手のピアニストの願いと作曲家の祈りが共鳴する楽曲といえば、セルゲイ・ボルトキエヴィチ(1877-1952 ウクライナ/作曲家・ピアニスト)作曲の「詩人」です。ボルトキエヴィチは第一次・第二次世界大戦、ロシア革命を経験する中、ヨーロッパを移動し続け生き抜いた、偉大な作曲家です。また、

ホロコーストの犠牲者エルヴィン・シュルホフ(1894-1942 チェコ/作曲家・指揮者・ピアニスト)による「組曲第3番」からは悲痛な叫びを感じます。

そして現代。右手の局所性ジストニア発症により長年の間左手のピアノ曲での演奏活動を行った故レオン・フライシャーと脳溢血により左手のピアニストとなった館野泉氏のために数多くの作曲家が左手のピアノ曲を生み出しています。歴史は現在も繋がっています。

左手のピアノ曲の楽譜ってどうなっているの?!

オペラ「イル・トロヴァトーレ」から恋はバラ色の翼に乗って
ヴェルディ作曲 ブファイファー編曲
演奏 瀬川泰代



左手のピアノ曲の楽譜と演奏をご覧ください。

inclusiveなアート展と miniマルシェ

午後2時30分から（開演前・休憩中・終演後ロビーにて）
演奏会チケットで入場出来ます。

6Fロビー

inclusiveなアート展

松浦政晴

昭和8年生まれ90歳、14歳より左官業を約60年勤めながら趣味として漆喰鏝絵の制作を続ける。職業病で指が思うように動かなくなり鏝絵の制作は出来なくなったものの竹細工や折り紙などの制作を現在でも継続している。



五指の響命
オリジナルグッズも
販売!

5Fロビー

miniマルシェ

ホームラン食堂

こんにちは。ホームラン食堂と申します。昨年の2月まで、広島市内で朝ごはんやおやつのお店として営業をしていました。現在は、お店からはなれ、出張やイベント出店などマイペースに活動をしています。お店をしている時から変わらず大事にしていることは、なるべく身近な食材をつかい、食べられない体の中をずっと通り抜けてくれるような食事やおやつをつくること。そして、お届けしたもので、子どもから大人までみんな一緒にたのしく食卓を囲む時間になればいいなあと日々願っています。当日は、会場でおやつとお飲みものをご用意いたします。



KONKON

「障害福祉サービス事業所で生まれた商品やアートを通して、つくり手のみなさんに出会ってほしい。一人でも多くのお客さまに“こんこん”と気軽にノックしてもらえよう。」そんな願いを胸に、オンラインショップ、時々イベント出店、アートレンタル事業等を広島市を拠点に営んでいます。



生活介護・就労継続支援B型HAP-B

個性あふれる仲間たちが集まるアトリエです。得意な事、好きな事を最大限に活かして社会と関わっています。主にデザイン、オリジナルグッズ制作・販売、お弁当配達、カフェのお仕事など楽しく行っています。



ボーダレスアートスペースHAP

放課後等デイサービスのボーダレスアートスペースHAPです。1989年からギャラリーとして広島のアートシーンにたずさわり、2013年4月にギャラリーからアートアソシエーション(アートする場所)となりました。いろんな可能性を作品にする“お手伝いの場”をつくり、「療育=アート」というコンセプトのもと、社会に出るまでの大切な時をサポートします。当日は、子どもたちの作品展示やオリジナル缶バッジの販売を行います。

松浦広之

昭和37年生まれ、子供の頃より父の作品制作を見て育ち見よう見まねで色々な物の制作を趣味として続け折り紙の魅力に取り憑かれる。平和公園の折り鶴を見て折り鶴の研究に目覚め様々な折り鶴を制作している。広島県の平和の象徴として折りバラの製作も親子で取り組んでいる。



会場 WAKO ゲバントホール の由来・誕生への想い

WAKO ゲバントホールは、ドイツ・ライプツィヒにあるホール「ゲバントハウス」を参考に建設されました。ゲバントハウスは、1743年に設立した世界最古の市民管弦楽団「ゲバントハウス管弦楽団」の本拠地です。彼らは、従来の宮廷専属のオーケストラとは異なる今までにない運営形式を行い、音楽を宮廷音楽から市民の場へと広めました。

そんなゲバントハウス・ゲバントハウス管弦楽団のように、音楽をより身近に、つながりを感じるホールへと成長してほしいという思いから、1990年、広島市中区に『WAKOゲバントホール』が誕生しました。

WAKOゲバントホールは、初代ゲバントハウス(1781-1894)及び、2代目ゲバントハウス(1884-1944)の形状「シューボックス」タイプを取り入れており、現代のホールとは形状が異なります。

特にクラシック音楽のコンサートやリサイタルにおいては、響きや空間の雰囲気も十分満足していただけます。

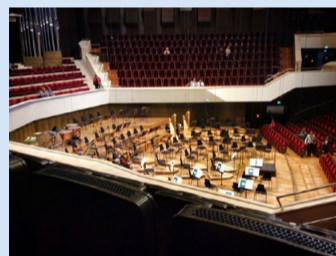


文章引用:WAKO ゲバントホール ホームページから



ゲバントホールの様子。写真提供: WAKO ゲバントホール

2016年、ドイツ・ライプツィヒ
訪問の記録より



ゲバントハウス



メンデルスゾーンの家



シューマンの家の前

五指の響命 チケットについて

チケット代金(前売り料金) 全席自由席

一般 3,000円 中・高校生 2,000円 小学生 1,000円

一般ペア 5,500円

当日券はそれぞれ500円増となります。

(要問い合わせ)

親子室でご鑑賞の方・介助者をお連れの方・手話通訳者、又は要約筆記者をご希望/お連れの方

チケットお申込み方法

チケットぴあから

チケットぴあ <https://pia.jp/>

Pコード

248730



瀬川泰代公式webサイトから

サイト内SHOPにて <https://www.yasuyosegawa.com>



メール・電話から

goshinokyomei@gmail.com (担当)
090-1475-4451 (19時以降22時まで)

※親子室でのご鑑賞を希望される方、手話通訳者又は要約筆記者をご自身で用意される方、介助者をお連れの方はお問い合わせください。

※手話通訳者又は要約筆記者が必要な方はこちらで手配もできますので、お問い合わせください。

※miniマルシェで販売のおやつとお飲み物、自動販売機の飲み物のみ、上演中以外に限り客席でご飲食いただけます。

※1階にカフェと会場近くにコンビニエンスストアもございます。

五指の響命 第二章 -生吹- ibuki

主催 瀬川泰代

後援 いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 / エリザベト音楽大学 / 学校法人 安田学園 / 館野泉 左手の文庫

協力 一般社団法人 HAP / KONKON / ホームラン食堂 / 松浦政晴・広之

お問い合わせ

メールアドレス goshinokyomei@gmail.com (担当)

電話 090-1475-4451 (19時以降22時まで)

《個人協賛》《企業・団体等広告協賛》ご協力をお願い

「五指の響命第二章 -生吹- ibuki」開催にあたり、皆様からご協賛という形で一助をいただきましたら、ありがたく存じます。いただいたご協賛金は、本公演と次回以降の「五指の響命」開催費用として使用させていただきます。

詳しくは瀬川泰代公式webサイトにて詳細をご覧くださいか、メールにて下記内容の通りお問い合わせください。

<ご協賛についてのお問い合わせ>
メール goshinokyomei@gmail.com
件名 : 五指の響命協賛

